

# トイレリフォームのポイント

## 便器交換の時期

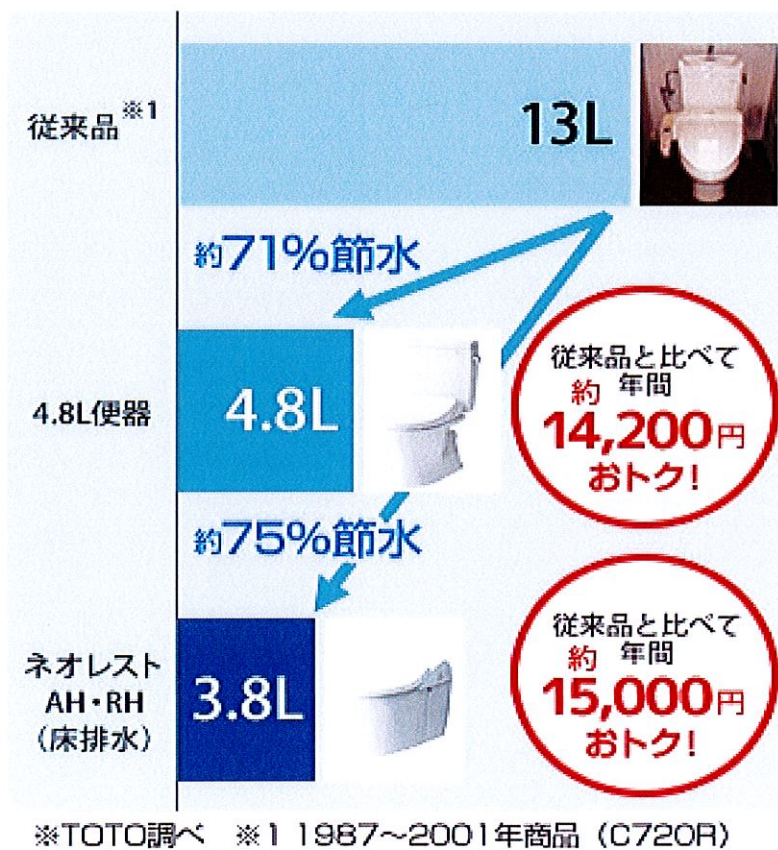
トイレのリフォームは10年を過ぎたら検討しましょう。  
便器やタンクが変色し始め、汚れや臭いも取れにくくなってきます。  
いくら掃除しても臭うのは、便器のフチの内側、便座やフタの隙間に溜まった汚れ、床と便器や壁の隙間にこびり付いた臭いや汚れが原因。  
また壁紙や床に臭いが染み付いているケースもあります。



## 修理と交換どちらがお得??

トイレの不具合が起きると、たいていのお客様は、まず修理をご検討されます。  
修理の場合、ホームページなどでは「〇〇〇〇円～」と一見安く思える広告が氾濫していますが、これらは基本料金であることが大半です。  
部品代、修理費用、出張費、その他を合わせると「数万円～」が相場です。  
節水型トイレに交換すると左の図のように水道代が年間1万円以上もお得です。  
今のトイレを修理して10年使用するより、節水型トイレに交換して10年使用するほうが水道代は10万円以上のお得になります。

↓ 次ページへ続く ↓

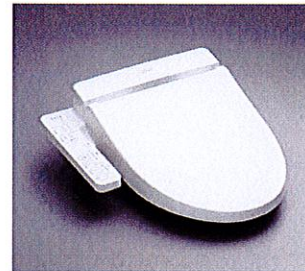


## 組合せ便器

現在と同じ手洗付きトイレへの交換は便座部を自由に組み合わせることができるのがポイント。予算や欲しい機能に合わせてお好みのカスタマイズができます。



+

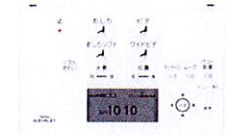


ウォシュレット

OR



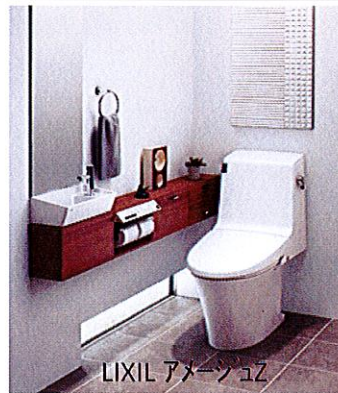
ウォシュレット+リモコン



Panasonic ,LIXIL ,TOTO

## 一体型便器

ウォシュレット一体型トイレに交換すれば、継ぎ目や凹凸が減り、すっきりとしたデザインのトイレになります。継ぎ目が少ないので、ほこりや汚れが細部に入りにくいというメリットがあります。



LIXIL アメーシュZ



LIXIL アステオ



TOTO GG3-800

## タンクレストイレ

タンクがないのでトイレの空間が広くなり、自由にデザインできるのに加え、トイレ内部に収納を増やすこともできます。



Panasonic



LIXIL



TOTO